

今年1年を振り返ろう！

いよいよ今年も残すところわずかになりました。今年は若いアスリートの活躍が目立ちました。フィギュアスケートの羽生選手、宮原選手。テニスの錦織選手。ゴルフの石川選手、松山選手。体操の内村選手や白井選手。男子バレーボールの石川選手など、たくさんの同世代の若者たちが世界の舞台で活躍しています。また、ラグビーも南アフリカを破る快挙を達成し、一躍ラグビーブームで盛り上がりました。この活躍は彼らの『**あきらめない心**』『**地道な努力**』の結果だと思えます。彼らの姿を見て勇氣とパワーをもらった人も多いのではないのでしょうか。

さて、もうすぐ新しい年を迎えます。3年生はラストスパート！志望校合格に向けて勉強あるのみです。2年生は来年いよいよ受験生です。受験に向けた準備を本格的にスタートしないといけない時期になりました。1年生は新年を迎える前にもう一度これまでの学習習慣を振り返ってみましょう。

《1年生へ》 **学習習慣を身につけましょう！ 基礎学力をつけましょう！**

2学期には文系に進むのか理系に進むのかという1つの大きな進路選択をしました。将来の自分の進路について十分考えられたのでしょうか。その進路について少しずつ準備をしていきましょう。

高校生活にも慣れ、文理選択や学校行事も一段落して、落ち着いてきたと同時に少し気が緩んできたということはありませんか。予習・復習、小テストの勉強といった日々の授業・学習を大切にしていますか。**日ごろの積み重ねが基礎学力を作ります。その基礎学力が進路実現につながります。**

明日から冬休みにはいります。各教科から冬休みの課題が出されていると思います。課題の内容は1, 2学期の復習を中心として、1月の末に行われる模試を目標に11月の模試の振り返りをするようになっていきます。しっかりと取り組みましょう。今までの学習で自分の弱点もわかってきたことと思います。この冬休みにその弱点を克服できるように勉強しましょう！

また、この冬休みに勉強や部活動、ボランティア活動など頑張ることを何か一つ決めて、一生懸命やってみましょう。年末年始なので、普段あまりしていない家事を手伝うのもいいと思います。有意義な冬休みを送ってください。



《2年生へ》 受験生になる準備をしましょう！

来年の科目選択もほぼ終わったことと思います。2年生は1年生以上に具体的に自分の卒業後の進路をイメージしながら選択する必要があります。大丈夫ですか？

3学期には高校生活最大の行事である修学旅行が予定されていますが、それが終わるといよいよ本格的に受験に向けて準備を始めなければなりません。**2年生の3学期は「3年生0学期」とも呼ばれたりします。**「入試はまだ先のこと」ではありません。3年生になってから、部活を引退してからと先送りしていると後悔することになります。今できることから始めましょう。まずは**授業をしっかり受け、家庭学習をしましょう。**スタディサポートの調査によると、産近甲龍大に合格した生徒の学習時間の平均は2年生のこの時期で、平日70分から80分、休日で90分から120分だそうです。予習復習をし、小テストの勉強をするだけで、これぐらいの勉強時間は必要だと思います。これを1つの目安として頑張ってください。

2月にはセンター試験早期対策模試も実施されます。具体的な目標に向けて準備をしましょう。定期考査、課題考査、模試等のようなテストでもきちんとやり直すことは大切です。**何度も繰り返すことで、はじめて知識は定着するのです。**

漢字検定や英語検定などにも積極的に取り組みましょう。大学受験や就職にも資格は役に立ちます。実力をつけるという意味でも1つでも上の級を取得できるように頑張らしましょう。

《3年生へ》 最後の1ヶ月を全力で頑張りましょう！

4年制大学、短大、専門学校のアオ入試、公募制推薦入試と就職試験がほぼ終わりました。就職を希望していた人はすべて合格し、就職先が決定しています。進学についても、第一志望校の合格を勝ち取った人、進学先が決定した人もたくさん出ています。しかし、3年生にとってはこれからの一般入試が本番です。あせらずこの冬休みに集中して勉強に取り組んでください。

すでに進路が決定している人もまだ決定していない人も残り1ヶ月の高校生活を充実したものにしてください。



センター試験まで22日！ 私立大学一般入試まで約35日！

センター試験の受験票も届きました。センター試験まで1ヶ月をきりました。でも現役生は最後の1日まで伸びると言われています。あきらめずに第1志望校を目指して頑張りましょう！

【ウラにつづく】

最後の1ヶ月に何をしたら先輩たちの声を紹介します。(蛍雪時代12月号より)

センター対策で重視した学習手段

- ①過去問 ②予想問題 ③模試の受験と復習 ④自作のノート ⑤センター対策用の参考書・問題集 ⑥高校の授業や補習

過去問については平均7年～13年分、予想問題については4年～6年分ぐらいを解いています。ただし、新課程科目は過去問があてはまらないことがあるので要注意です。過去問や予想問題を解くときに気を付けたことは時間配分や解答順序、知識事項の確認・補強、問題解法の確認・習得、間違いのパターン発見、マークシートの使い方などです。

センター試験で実力を出し切るために必要なこと

- ①数多く演習して慣れる ②ケアレスミスをしない ③時間配分など解答作戦
- ④知識事項を確実に習得 ⑤本番に向けた体調管理 ⑥出題傾向や解法を理解
- ⑦本番でのアガリ対策

試験が近くなるこれからは、心身のコンディション調整も重視しなければいけません。万全の準備をして本番に臨み、自分の実力を最大限に発揮しましょう！

上にあげたことは実は私立大学の一般入試にもあてはまります。ここからは自分の志望する大学の過去問を演習として利用しましょう。間違ったところを徹底してやり直して確実に習得していきましょう。

最初に触れたフィギュアスケートの羽生選手は『血のにじむような厳しい練習』を乗り越え、『やってやる！』という強い気持ちを持って、この1ヶ月の間に世界記録を二度も更新しました。みなさんも最後の1ヶ月これ以上できないというぐらい勉強しましょう。その経験はみなさんの自信となり、きっと将来役に立つことと思います！



※ 今年はインフルエンザが例年以上に流行しています。予防接種などを利用して、本番の入試を万全の状態を迎えられるようにしましょう！